

令和３年度 沖縄観光国際化ビッグバン事業  
「上海における料理体験イベントを活用した  
沖縄観光プロモーション業務」  
企画コンペティション 仕様書

令和３年 10 月



## 1. 事業概要・目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外と沖縄の観光交流は1年半以上中断しており、インバウンド関連ビジネスを主に展開していた事業者・団体等を中心に本県の観光産業は甚大な打撃を受けている。こうした中、日中両国でのワクチン接種率も日々上がっており、観光交流再開に向けた動きは着実に進められている。中国国内では、市中感染者の発生が抑えられ、中国国内旅行の需要も新型コロナウイルス感染拡大前の水準に戻りつつあり、上海現地においては、規制緩和により少しずつイベント開催も増え始めている状況にある。

中国市場においては、日本・沖縄ファンに、訪日・訪沖旅行ができない、渡航再開の目途が立たないといったフラストレーションが蓄積されている。こうした状況の中、同市場では、沖縄県産の食材、食品について「天然・自然素材、健康的」というイメージが定着しつつあり、沖縄料理や食文化にもますます関心が高まっている状況である。

これをふまえ、中国（上海）現地での沖縄料理体験イベントや、県産食品購入など、中国現地でも「食」を通じて沖縄を疑似体験できる、「食」をテーマとした沖縄観光プロモーションを行うことにより、訪沖旅行への欲求を満たすとともに、一層の訪沖需要喚起や路線再開後の早急な訪沖中国人観光客獲得、県経済の振興等を図ることを目指す。

なお、食と観光の魅力を併せて紹介する動画素材を新規撮影・制作し、料理体験イベント時や事前告知で活用する。アフターコロナに適した沖縄の新たな魅力や持続可能な観光振興につながる高付加価値コンテンツを選定し訴求することで、訪沖需要喚起への効果を高める。

## 2. 対象市場及び訴求ターゲット人物像（ペルソナ）及び訴求コンテンツ方針について

中国市場において、沖縄県及びOCVBが想定している下記2つのターゲット人物像（ペルソナ）から1つを選び、プロモーションを展開すること。

### （1）アクティブ上海キャリアウーマン（独身）

人物像	仕事も生活もアクティブに楽しむ独身女性
プロフィール	30代の会社員
年収	平均よりかなり多い
旅行経験	海外旅行は年2～3回 沖縄ファンまたは日本ファン（訪日経験1～2回）
旅行目的	アクティビティ/文化・芸術/グルメ/景勝地/ヘルス/ショッピング等幅広い興味
詳細イメージ	上海在住の30代を中心とした若いキャリアウーマン。仕事は外資系や外国人と関わる内容で、それなりの役職を担っていたり、自営業を行っていたりと非常に自立している。休日は自分磨きや趣味に惜しみなくお金を使う。結婚はしていない。旅行経験は豊富。旅行の目的は幅広く、全方位的に興味の幅が広いが、特にショッピングとグルメを楽しみにしている。一人で贅沢なご褒美旅をする。
訴求コンテンツ方針	・ 中国大陸から近く、気軽にかつ女性一人でも安心できるリゾート地として他地域と差別化 ・ 県内観光施設等の防疫体制 ・ 2020年以降オープンした新規観光施設

	<p>・海洋リゾートとしての魅力だけでなく、グルメや自然を楽しめるコンテンツを紹介することでアフターコロナの新たな旅行需要に対応できる旅行目的地としての魅力を訴求。コロナ過で需要が高まっている、キャンプ（グランピング）等その他、ペルソナの需要や潜在的欲求に基づく独自提案</p>
--	---

## （２） 教育熱心な子育てママ

人物像	沖縄・日本好きな子育て中の女性（親子）
プロフィール	30代の会社員
年収	平均より多い
旅行経験	家族での海外旅行は年1～2回 沖縄ファンまたは日本ファン（訪日経験1～2回）
旅行目的	子供の教育に良い内容に興味がある
詳細イメージ	上海在住の子育てママ（子供は小学生）。夫婦共働きで、世帯収入が非常に高い。教育への投資は惜しまず、良いものは全て取り入れている。海外旅行経験が豊富で、結婚後も家族で年に1回以上は海外旅行に行く。子供が楽しみながら学び、経験することで、成長に良い刺激になることが旅行の目的である。アクティビティから、テーマパーク、地域の歴史文化が学べる施設などを中心に巡る。都市ではあまり触れられない自然を感じられるコンテンツにも興味がある。
訴求コンテンツ方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国大陸から近く、気軽にかつ子連れでも気兼ねなく楽しめるリゾート地として他地域と差別化</li> <li>・ 県内観光施設等の防疫体制</li> <li>・ 2020年以降オープンした新規観光施設</li> <li>・ 親子で楽しめるコンテンツ、旅行を通して教育ができ、子供の成長を実感できるコンテンツの魅力を訴求。ペルソナの需要や潜在的欲求に基づく独自提案</li> </ul>

## 3. 業務委託予算

5,000,000 円（税込）

## 4. 委託内容

業務委託の内容は次のとおりとする。

### （１） プロモーション実施期間

- ① 契約締結日から令和4年2月20日まで
- ② イベント開催日は令和3年12月中旬～令和4年1月中旬までの間、1日

### （２） 業務内容

本仕様書で定めたターゲット（2つのうち1つを選定）が、「食」を通じて沖縄を疑似体験し、沖縄に対する好意・愛着を深め、復便決定後に最初の旅行目的地として沖縄を選びたくなる（訪沖意欲が高まる）よう、ターゲットの態度変容を促すことを目的とした料理体

験イベントを軸とした沖縄観光プロモーションの実施。  
以下で提示するプロモーション展開を予算の範囲内で実施すること。

## ① 上海での沖縄料理体験イベント企画、設営及び実施等

- (ア) 「食」を通じて沖縄を疑似体験し、沖縄観光需要喚起を図る内容とすること。
- (イ) 中国国内で購入が可能な沖縄県産食品や沖縄料理に欠かせない食材を活用した料理体験イベントを企画提案すること。

### 【会場】

- (ウ) 実施会場は地下鉄駅から近い場所等交通の便を考慮し選定すること。なお、音響やプロジェクター等を使用する場合は、事前に会場管理者と設備に関する確認を行うこと。

### 【メニュー、紹介食品・食材】

- (エ) 料理体験メニューは、沖縄料理に加え、中国の家庭でも気軽に作れるように、現地料理に沖縄食材を活用するメニューも含めること。
- (オ) 選定する食材・食品は、路線再開後の需要拡大やトレンド化も見据えて選定すること。(なお、イベント当日は会場で、沖縄県上海事務所との協議に基づき、県産品の販売も予定している。)

### 【参加者】

- (カ) 料理体験の講師は、上海市内で沖縄料理を提供している店舗のシェフや沖縄料理に詳しい人物を選定すること。必要に応じて通訳をつけること。
- (キ) 料理体験イベントには、事前に一般参加者を募集し、20～40 名程度を抽選により選定、参加させること。参加者募集に伴い必要な申し込みフォームの作成、受付、管理等を行うこと。
- (ク) 沖縄ファン又は来沖経験があり、影響力が高く、中国市場が訴求するターゲットに合った上海在住インフルエンサーを1名以上選定し、イベントに招待すること。なお、選定インフルエンサーが主に使用する媒体や、フォロワー数等を企画書に記載すること。

### 【「食」をフックとした沖縄観光情報発信】

- (ケ) 料理体験とともに、料理や食材の背景にある沖縄の自然、食文化、歴史の魅力も学べ、実際に沖縄へ渡航したくなる内容とすること。
- (コ) 「天然・自然素材、健康的」という沖縄料理、食材のイメージと連動させ、沖縄自体の自然豊かで健康的なイメージを効果的に発信すること。

### 【その他】

- (サ) イベントでは、沖縄県産品の食器(やちむんや琉球ガラス等)なども可能な範囲で活用すること。
- (シ) イベント実施後の情報発信で活用するため、イベント実施時には動画や写真の撮影も行うこと。
- (ス) 企画提案書には現地での新型コロナウイルス感染拡大によるイベント中止を想定した代替案も合わせて提案すること。
- (セ) その他イベント実施にかかる必要な準備等を行うこと。

## ② 沖縄の「食」をテーマとした動画素材制作

- (ア) 上記①の料理体験イベントにて活用、紹介される料理や食材・食品の背景、産地の観光情報、製造過程等、食をテーマとした沖縄観光の魅力を情報発信する動画素材を新規撮影、制作、活用すること。(例：酒造所見学、食材収穫体験、黒糖づくり体験等、今現在の沖縄を感じられるとともに、今後來沖した際に実際に観光客が体

験できる内容であること。)

(イ) 1分以内の動画を5種類以上制作すること。

(ウ) 制作した動画は、料理体験イベント時やイベントの事前告知に活用し、アフターコロナに適した沖縄の新たな魅力や持続可能な観光振興につながる高付加価値コンテンツの訴求も図り、訪沖需要喚起への効果を高めること。

### ③ 料理体験イベント事前告知及び事後の沖縄観光情報の発信等

(ア) ターゲットに訴求する効果的な媒体 (TV 番組や SNS など動画を活用できる媒体)、及び本イベントに招待するインフルエンサーを活用し、イベントの事前告知やイベント後のイベント映像を含む実施内容発信を行うこと。イベントに関する情報発信だけでなく、合わせて沖縄の自然豊かで健康的なイメージを拡大させ、中国人観光客にまだあまり知られていないニューノーマルな観光コンテンツ情報等を効果的に発信すること。なお、観光の魅力を紹介する既存動画コンテンツも積極的に活用すること。

(イ) イベント後の情報発信についてはイベント時の実施映像を含むこと。

(ウ) 本イベントに参加しない方々も、中国で購入可能な食材や、EC 等を通じた沖縄県産食品を購入し、料理体験が楽しめるよう工夫すること。

④ 上記①～③の内容を含む本事業目的に沿った提案を行うこと。より効果的な事業実施のための独自提案もあれば含めること。

### (3) 事業全体の効果測定及び分析

① 沖縄に対する好意・愛着度や訪沖意欲を図ることを目的とした効果測定指標及び目標値を設定し、効果測定の実施・分析を行うこと。また、報告の際には可能な限り成果が分かりやすく可視化される手法を用いること。

② 本業務は復便決定後の中国市場からの訪沖につなげることを目的としているため、単純な情報の露出を目的としたリーチ数、PV 数等の指標は重要視しない。(戦略上重要な指標であることが分かればリーチ数や PV 数でも問題ない)

### (4) 企画実施体制

① 委託業務全体を統括する担当者正副合計2名の配置

② 沖縄観光について基本的な情報 (島々の概要・観光情報等) を有しているスタッフを配置すること。

③ 中国の訪日旅行市場に関する基本的な情報を有するスタッフを配置すること。

④ コンソーシアムでの参加の場合は企画提案書へ各企業・団体名を明記すること。

(ア) 契約締結後直ちに委託業務を履行できる体制を整え、本業務全体の「体制図」と「連絡体制表」を提出し OCVB の承認を得ること。

(イ) 委託業務の進捗は常に OCVB と共有すること。

(ウ) 受託者は協力会社含め実施体制の管理を徹底し、変更が生じた場合は速やかに新実施体制図とともに報告すること。

(エ) 受託者は進捗状況を把握し、スケジュールが変更となる場合、速やかに新スケジュールとともに OCVB へ報告すること。

(オ) 迅速な業務遂行のため、受託者の窓口担当者は OCVB との連絡を密に取れる状態であること。

(カ) 受託者は本業務の詳細について OCVB の担当者及び関係者と十分な打ち合わせを行い、業務の目的を達成すること。

(5) 業務完了報告書の作成

実施したプロモーションの内容やその事業効果とともに、業務全体を分析し課題について取りまとめ、報告書を作成すること。

(6) 精算関係書類の提出

業務に掛かった費用内訳と、その適正及び支払いを証明する証憑書類を提出すること。

〈例〉

- 外注先企業等からの見積書、納品書、請求書
- 外注先企業等への支払い証明書または外注先企業からの領収書
- 自社人件費の稼働一覧、勤務表など
- 広告媒体料金表など

(7) その他、OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

## 5. 成果物一覧

受託事業者が提出すべき成果物の一例は下記のとおりとする。

成果物等一覧（一例）

項 目	内 容
① コンテンツ及び素材データ	・作成した広告、記事（中国語、日本語訳）、Web サイト等の電子データ一式 ・本業務で使用した映像、画像等のデータ一式 （映像素材は、HD カム及び PC にて再生できる DVD ディスク、図版素材は、イラストレーター/フォトショップデータ（アウトラインを取る前と後の両方で加工可能な状態であること）及び PDF データ（確認閲覧用を納品）
② 業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書 1 部、及びデータでの提出
③ その他	業務実施にあたって作成した成果物（各 2 点）

※本業務における成果物等については、メインロゴとして「Be. Okinawa」を掲示し、必要に応じて沖縄県及び OCVB のロゴマークを掲示すること。（ロゴデータは OCVB より提供）

【メインロゴ】沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」



## 6. 成果物及び業務完了報告書の提出期間

令和 4 年 3 月 4 日（金）まで

## 7. 契約不適合責任

受託者は、納品後から 1 年間は瑕疵や不具合について無償で修正し、またはこれを取り換える責任を負うこと。

## 8. 著作権・特許権

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、全ての著作権（著作権法第 27 条及び 28 条に定める権利を含む財産権）を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から

受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は、事前に OCVB の承諾を得るものとする。

- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条から第 20 条までに規定されている権利を行使することができない。
- (3) 成果物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用もしくは沖縄県・OCVB が観光振興に資すると判断した上で、第三者への提供が可能なもののみを使用するものとする。
- (4) 本業務にて作成する印刷物等に使用する、OCVB が著作権を得ることができない図版及び写真については、二次使用が可能なこととする（写真データについては電子納品をし、VISITOKINAWA ウェブサイトへの掲載及び OCVB が認める他媒体での使用が可能であるもの）
- (5) 成果物の使用期限は設けないものとする。
- (6) 成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については、訴訟費用を含め全て受託事業者において責任を負うものとする。
- (7) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (8) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開ができないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。

## 9. 注意事項

- (1) 提案企画の中で OCVB が行なう業務がある場合は、企画書に明確に明記すること。
- (2) 契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画内容をすべて実施することを保証するものではない
- (3) 提案内容は、公的機関が行うプロモーションとして適切なものとする。
- (4) 本業務にて使用する図版及び写真は、原則として受託事業者が用意すること。
- (5) 本業務にて作成する各媒体へ掲出する掲載内容の情報については、受託事業者が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- (6) 本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- (7) 本仕様書記載の業務内容については、実施段階において予算や諸事情によって変更することがある。